

家族経営協定書（例）

（目的）

この協定書は、太郎(経営主)花子(経営主の配偶者)及び実(後継者)が、協力し堅実で安定的な農業経営を確立し、健康でゆとりある暮らしを実現することを目的とする。

1（経営方針）

経営方針経営計画の策定にあたっては、家族全員が参画して行うものとする。

(1)ゆるやかな規模拡大を進めて行く。

(2)家族で役割分担をし、分担された役割に責任を持つとともに、担当以外の事項についても各々が相互に協力する。

2（役割分担）

お互いの健康や得意な分野を考慮し、次のように分担をする。

(1)生産活動の運営に関すること

【果樹】主担当:経営主 副担当:後継者 【野菜】主担当:後継者 副担当:経営主

【直売所】担当:経営主の配偶者

(2)農業簿記及び青色申告に関すること

主担当:経営主の配偶者 副担当:後継者

3（収益の配分）

農業経営で生じた収益は、家族の話し合いにより次のとおりとする。

対象者	給与月額	期日	方法
阿智 太郎	〇〇万円	毎月月末	口座振込
阿智 花	〇〇万円	毎月月末	口座振込
阿智 実	〇〇万円	毎月月末	口座振込

上記の給与のほか、所得目標を達成した場合には、状況に応じて、賞与を与えることができるものとする。

4（健康維持）

皆で元気に働けるよう各自健康に留意し、毎年、特定検診を受診する。

5 (労働条件・研修など)

1 日の労働時間は8時間を原則とし、農作業の繁閑により延長又は短縮することができる。毎週日曜日に1週間の予定を確認し、全員で仕事を休む日を最低週に1日作る。農繁期に休めない分は農閑期に休むようにする。研鑽の為、家族による視察研修を年に1回実施する。

6 (経営移譲)

経営主が〇〇歳になったら、経営権及び経営用資産を経営主及び配偶者の合意に基づき後継者に移譲する。

(附則)

1 この協定書は、毎年1月に見直すものとする。

2 この協定書は5部作成し、太郎・花・実及び立会人が各1部を保管する。

令和〇年〇月〇日

住所 阿智村〇〇△△-△

協定者

(経営主) 阿智 太郎 印

(経営主の配偶者) 阿智 花子 印

(後継者) 阿智 実 印

立会人

農業委員会

会長 氏名 印

□□□□

氏名 印